

平成 27 年度第 1 回広島県 FM 連絡会議 開催報告

広島県 FM 連絡会議代表幹事：広島県

平成 27 年度第 1 回の広島県 FM 連絡会議（自治体等 FM 連絡会議広島県地域会）を、平成 27 年 7 月 15 日に広島県庁において開催しました。当日は、広島県と県内全 23 市町から合計 116 名が参加しました。

今回は 2 部構成で、県職員を対象とした「広島県ファシリティマネジメント研修会」も兼ねて開催した第 1 部では、関東学院大学 建築・環境学部 専任講師 李様から、「公共 FM、実践のためには！」と題して、公共施設に係るファシリティマネジメントの推進プロセスなど、実践のための取組について、具体的な施設評価の方法を示しながら御講演をいただきました。

続いて、中国財務局管財部管財総括第二課 国有財産総括専門官の斎藤様より、「国公有財産の最適利用について」と題して、過去に国と地方公共団体が連携して国公有財産の有効活用を図った主な事例を紹介しながら、公立施設の効率的な再編及び最適化を図っていく必要性について御説明いただきました。

それから、広島県が昨年 12 月に、「公共施設等総合管理計画」と位置付けて策定した「広島県公共施設等マネジメント方策」の概要について説明いたしました。

第 2 部では、7 月 9～10 日に弘前市で開催された自治体等 FM 連絡会議の報告を広島県が行い、その後、各自治体提出の 18 議題について、3 つの分野に分けて情報、意見交換等を行いました。総合管理計画策定後の推進体制、施設管理のためのシステムの導入、施設の長寿命化による目標使用年度、遊休財産の利活用方法等についての質問が出され、自治体間での意見交換や、第 1 部に引き続き御参加いただいた講師の方や、当会議のオブザーバーとして御参加いただいた一般財団法人建築保全センターの池澤様から、それぞれの自治体が抱える課題の解決の方向性について、アドバイスをいただきました。

最後に、今年度第 2 回の広島県 FM 連絡会議については、11 月 27 日（金）、広島県福山市において開催予定である旨を御案内し、会議を閉会いたしました。

広島県 FM 連絡会議は、昨年度、広島県と県内全 23 市町が会員として発足し、今回で 2 回目となります。次回以降も、この会議での情報交換・意見交換を通して各自治体が結びつきを深め、これからの課題を克服し、広島県全体でのファシリティマネジメントのレベルアップが図られるよう、工夫していきたいと考えておりますので、今後とも皆様の御協力をお願いします。

